

## 今週（12月9日から12月13日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、試し取りなどによる特殊要因を除くと、0.225～0.228%での出合いが中心となり、落ち着いて推移する展開となった。加重平均レートは、9日(月)から12日(木)まで0.227%、出来高は3兆円前後での推移となり、前週と概ね同様のマーケットとなった。週末となった13日(金)は、実質的な積み最終日となったものの、ビッド件数がやや増加した程度で大きな変化は見られなかった。

ターム物は、引き続き12月もしくは1月の利上げを織り込んだ水準での出合いが中心となっており、12月末を越えるターム物では0.4～0.6%程度で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、9日(月)に財政資金の揚げにより527兆円台半ばまで減少してスタートした。その後は11日(水)の5年債発行により525兆円程度まで一段と減少したものの、13日(金)には年金定時払いを受けて531兆円程度まで増加する見込みとなった。

### ●レポ市場

今週のGCT/Nは、0.235～0.255%での出合いとなった。週を通してオファーサイドの資金調達姿勢が安定的に見られたことから前週比で横ばい圏での推移となった。

SC取引については、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、概ね横ばい圏で推移した。

9日(月)に実施された6M物入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

13日(金)に実施された3M物入札も、無難な結果となったものの、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小甘く推移した。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、機械、建設、卸売等の業態で大型発行が見られた。

市場発行残高は、週を通して概ね26兆円～26兆円台半ばでの推移となった。

発行レートは、引き続き0.25%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
12/9 (月)	39,160.50	1.035	149.81	0.227	0.240	5,273,900
12/10 (火)	39,367.58	1.060	151.50	0.227	0.247	5,278,400
12/11 (水)	39,372.23	1.065	151.80	0.227	0.248	5,249,600
12/12 (木)	39,849.14	1.045	152.30	0.227	0.243	5,249,600
12/13 (金)	39,470.44	1.035	152.90	0.227	0.247	5,311,000

## 来週（12月16日から12月20日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
12/16 (月)	10月の機械受注統計(内閣府 8:50) 10月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)		
12/17 (火)		20Y 10,000億円 12/18発行	米FOMC(1日目) 11月の米小売売上高 11月の米鉱工業生産・設備稼働率 10月の米企業在庫
12/18 (水)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～) 11月の貿易統計(財務省 8:50) 7-9月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 10月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 32,000億円 12/20発行	米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 11月の米住宅着工件数 11月のユーロ圏消費者物価指数改定値 11月の英消費者物価指数
12/19 (木)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30)		英中銀MPC 7-9月期の米GDP確報値 11月の米中古住宅販売件数
12/20 (金)	11月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 43,000億円 12/23発行	11月の米個人所得・消費支出(PCE)

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
12/16 (月) 日銀予想	▲ 1,400	▲ 1,200	▲ 2,600	国債買入 国債補完	3,200	11,600	14,800	12,200	TB3M発行▲43,000償還46,000 個人向け発行▲3,400償還700
12/17 (火) 弊社予想	▲ 2,000	1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
12/18 (水) 弊社予想	▲ 2,000	▲ 10,000	▲ 12,000				0	▲ 12,000	20Y発行▲10,000
12/19 (木) 弊社予想	▲ 300	1,000	700				0	700	
12/20 (金) 弊社予想	▲ 3,000	57,000	54,000	社債買入		250	250	54,250	国債の大量償還・利払い TB1Y発行▲32,000償還34,000 5Y償還15,000、10Y償還11,800 20Y償還14,100 I補完-対策借入▲7,400期日7,000
週間合計	▲ 8,700	47,800	39,100	—	3,200	11,850	15,050	54,150	

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き0.225～0.228%近辺での出合いが中心となることが予想されるが、金融政策決定会合において追加利上げが決定された際にはレートの上昇が想定される。債券レポGC T/N物は、0.150～0.25%程度での推移が予想されるが、金融政策決定会合において追加利上げが決定された際にはレートの上昇が想定される。短国市場は、18日(水)に1Y物、20日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、日銀金融政策決定会合を控えるなか、発行案件がどの程度膨らむのか注目される。

主要なイベントは、国内では16日(月)に10月の機械受注統計、18日(水)・19日(木)に日銀金融政策決定会合、20日(金)に11月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、17日(火)に11月の米小売売上高、17日(火)・18日(水)に米FOMC・経済見通し、19日(木)に英中銀MPC、7-9月期の米GDP確報値、20日(金)に11月の米個人所得・消費支出(PCE)の発表などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。